

BM-08 イーサネットインタフェース



本器をBMシリーズに組み込むことで、イーサネット（LAN）通信が可能となります。イーサネットにより、ネットワークを利用した計量データの管理が可能となります。

梱包内容と名称



取付方法

注) BM本体からACアダプタを外した状態で、以下の作業を行ってください。

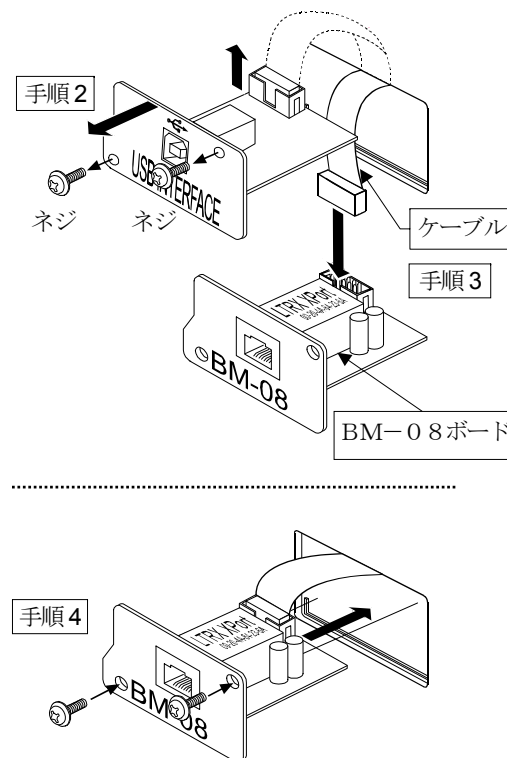
手順1 IPアドレスを設定する際に、BM-08を個体識別するためのMACアドレス※（ハードウェアアドレス）が必要となる場合がありますので、記載されたMACアドレス（上図参照）を記録しておいてください。

※ 例：00-20-4A-84-23-D6

手順2 背面のパネルのネジ（2本）を外し、USBインターフェースをケースの外に出します。

手順3 USBインターフェースからコネクタを外し、BM-08ボードのコネクタに差し込みます。

手順4 BM-08ボードを装着し、手順2で外した2本のネジで固定します。

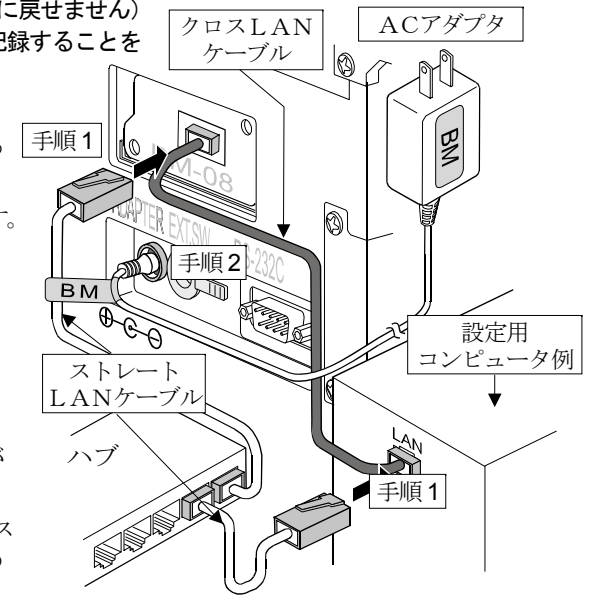


BM-08とコンピュータとの接続

注意

- BM-08を既存のネットワークに接続する場合は、必ずネットワーク管理者に相談してください。BM-08が原因でネットワークに障害が発生する可能性があります。また、障害が発生しても当社ではネットワークに関する一切の責任を負いかねますので、ご了承願います。
- BM-08の設定は一台ずつ行ってください。出荷時は同じIPアドレス(172.16.100.2)に設定されています。IPアドレスを重複させないでください。
- IPアドレスをリセットすることはできません。（出荷時設定に戻せません）IPアドレスを入力するときは、IPアドレス記載シールに記録することをお勧めします。

- 手順1 コンピュータとBM-08をハブを介してストレートケーブルで接続します。（ハブを使用しないで直接接続する場合は、クロスLANケーブルを使用してください。）
- 手順2 天びんBMに付属のACアダプタを天びん本体に差込みます。
- 手順3 コンピュータとBM-08のIPアドレスとサブネットマスクを設定します。
必ず付属のCD-ROM「WinCT-Plus」内の「取扱説明書.PDF」の手順に沿って行って下さい。異なる手順で設定を行うと通信できなくなる場合があります。
- 手順4 設定したIPアドレスを「IPアドレス記載シール」に記入し、適当な場所に貼付してください。（天びんの識別がしやすくなります。）
- 手順5 データ収集ソフトウェア「RsMulti」をコンピュータにインストールします。インストール方法は付属のCD-ROMの「WinCT-Plus」内の「取扱説明書.PDF」を参照してください。



データ通信ソフトウェアの概要

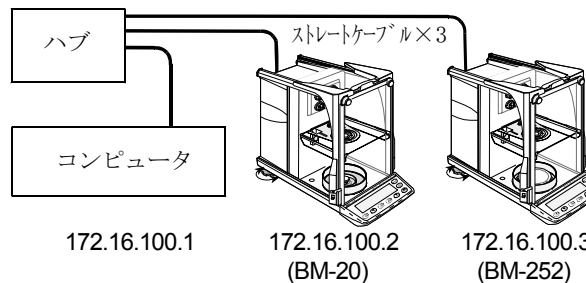
データ収集ソフトウェア「RsMulti」を起動します。「スタート」→「プログラム」→「A&D WinCT-Plus」→「RsMulti」。「RsMulti」の取扱方法は、「A&D WinCT-Plus」→「取扱説明書」を参照してください。

- 1台のコンピュータでLANまたはRS-232Cに接続した複数の計量器のデータを収集できます。
- コンピュータのコマンドにより計量器をコントロールできます。
- 計量器から転送されたデータを収集できます。（例）天びんの「PRINT」キー押してデータを出力し、収集する。
- 記録したデータをExcelで開くことができます。（Microsoft社製Excelを事前にインストールする必要があります。）
- 接続できる計量器は、最大で100台までです。ただし、コンピュータの性能やデータ取込みの頻度により接続できる数が制限されることがあります。

設定例

2台のBM天びんを接続する場合。

	IPアドレス	サブネットマスク
コンピュータ	172.16.100.1	255.255.0.0
BM-20	172.16.100.2	
BM-252	172.16.100.3	



「RsMulti」の画面例

